

2021年度 応用地形判読士資格検定試験 二次試験問題

〔午前の部〕

実技試験の注意事項

- (1) 実技試験の実施日時は、2021年11月27日（土）の10時0分から15時0分までとする。
 - ・ 午前の部：10時0分から12時0分までの2時間.
 - ・ 午後の部：13時0分から15時0分までの2時間.
- (2) 試験開始後1時間は、退場を認めない。
- (3) 試験問題には、国土地理院発行の地形図と空中写真を使用している。地形図は、注記がある場合を除いて、上を北としている。
- (4) 解答は、図示を求める問題に対しては〔地形図〕と〔記号凡例用紙〕に、記述を求める問題に対しては〔論述式答案用紙〕に、それぞれ記入すること。
- ◇ 〔地形図〕と〔記号凡例用紙〕および〔論述式答案用紙〕には、受験番号を必ず記入すること。 受験番号が未記入であったり間違えている答案は、採点からすべて除外し、不合格とする。
- (5) 指定した読図範囲について、問題にしたがい読図すること。実体視できる範囲については、読図に加えて空中写真を判読すること。
これらの結果は、その地形図上に図示すること。図示するにあたり、地形種の輪郭は明確に記入すること。ただし、地形種は、地形判読記号、色、模様などにより判別できる程度としてもよい。
- (6) 地形図に記入する地形判読記号、色、模様などは、特に定めない。ただし、使用した地形判読記号などは、別に配布してある〔記号凡例用紙〕に記入すること。
- (7) 試験の開始にあたり、試験問題の欠落や印刷に不鮮明な箇所がないことを確認すること。
- (8) 試験開始後は、参考書籍のほか、通信機器類および電子機器類（ウェアラブル端末（例えばスマートウォッチ）などを含む）の使用は一切禁じる。また、携帯電話など音を発生させる機器類は、必ず電源を切ること。
- (9) この注意事項の説明後は、原則として質問に応じない。
- (10) 試験終了後、この問題用紙は持ち帰ってもよい。
ただし、①地形図、②記号凡例用紙、③論述式答案用紙、④空中写真は、机の上に残すこと。

◇ 〔地形図〕と〔記号凡例用紙〕および〔論述式答案用紙〕には、
受験番号を必ず記入すること。

《問題》

1. 地形図に実線で示した範囲について、地形図読図と空中写真判読によって地形を分類し、その結果を地形図上に図示しなさい。その際、この地域で想定される自然災害（土砂災害を含む）に留意して、地形を分類すること。

地形分類記号などは任意に設定して、別紙の〔記号凡例用紙〕に記入しなさい。

2. この地域で想定される自然災害について、その根拠を、論述式答案用紙に合計 800 字を超えないように記述しなさい。

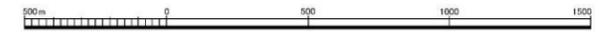
必要に応じ、地形図中の参照する地点や地域に、記号や番号などを付してもよい。

<参考>

地形図 国土地理院「電子地形図 25000」／出題範囲は図示の経度・緯度を参照

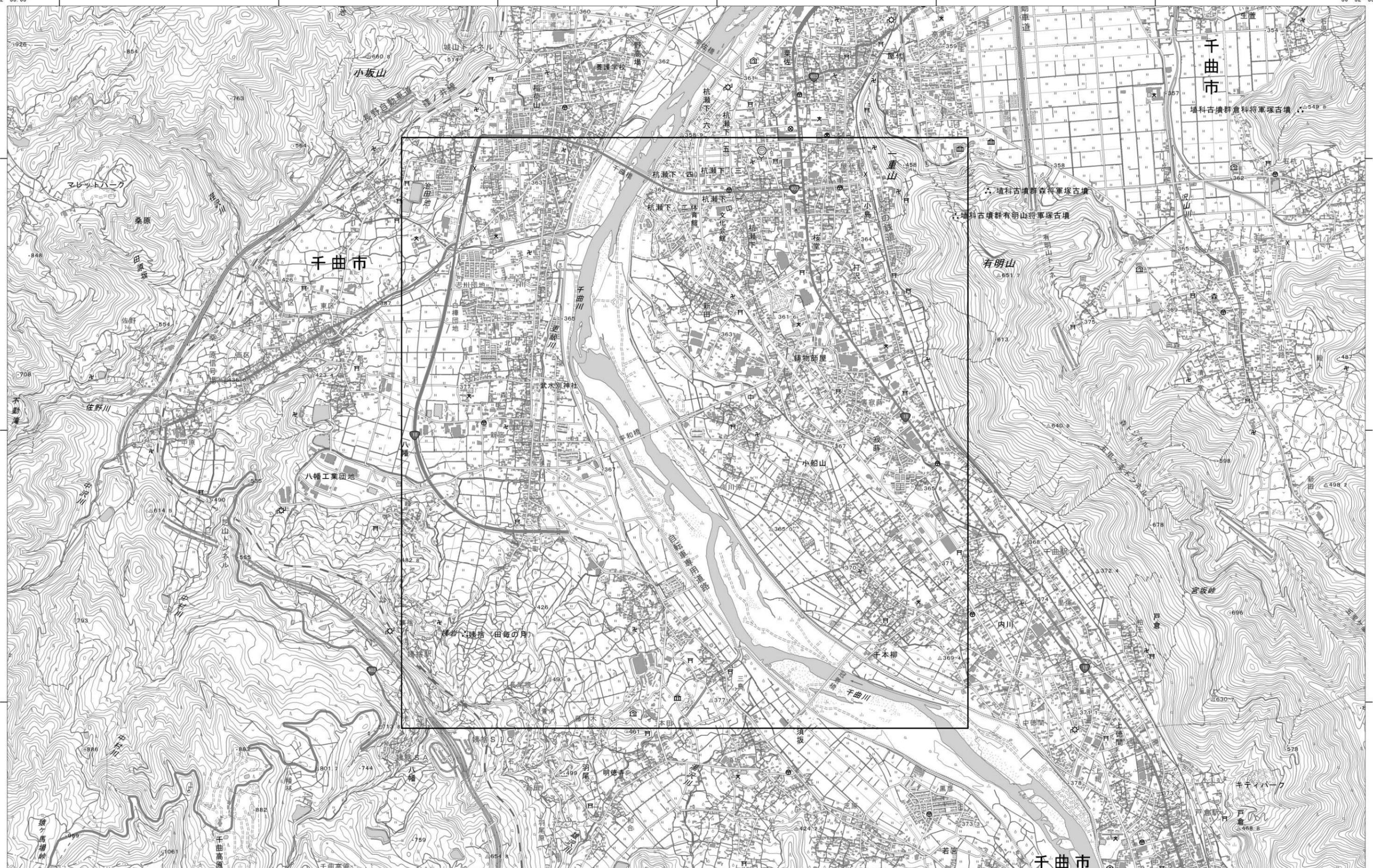
(データ取得日：2021年10月11日)

空中写真 整理番号：CB-2002-6X / コース番号 C6 / 写真番号：1, 2, 3



138° 3' 45.72"
36° 32' 33.63"

138° 9' 57.46"
36° 32' 33.64"



138° 3' 45.85"
36° 29' 23.13"

138° 9' 57.33"
36° 29' 23.12"

1. 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第54帯、中央子午線は東経141°
2. 図郭に付した短線は経緯度差1分ごとの目盛
3. 高さの基準は東京湾の平均海面
4. 等高線及び等深線の間隔は10メートル
5. 磁気偏角は西偏約7° 10'
6. 図式は平成24年電子地形図25000図式
7. 本図上部の枠内には、この地図の購入者が入力したものをそのまま記載しています

令和3年10月11日 調製

著作権所有兼発行者 国土地理院

138.11-36.52-A3-y-20211011-111216-0000